

歯科材料5 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用支台築造材料 38789000
(一般医療機器 歯科用練成器具 70682000)

ビューティコア

再使用禁止（ミキサー、ノズル）

【禁忌・禁止】

- 1) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- 2) 松風ミキシングセットのミキサー及びノズルは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材はデュアルキュア型ペーストである「フローペースト」、ペーストの練和に用いる「ミキサー」、窩洞細部へのペーストの填入に用いる「ノズル」、並びに光重合型ペーストである「LCインジェクタブル」、「LCポストペースト」及び「LCペースト」から構成される。

「LCインジェクタブル」は流動性をほとんど示さない低粘度タイプ、「LCペースト」は高粘度タイプであり、コア部の築盛に用いる。「フローペースト」及び「LCポストペースト」は高い流動性を示す低粘度タイプであり、ポスト部の填入に用いる。

【成分】

構成	性状	成分
フローペースト	フローペーストA	ペースト ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、反応開始材、その他
	フローペーストB	ペースト ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、反応開始材、その他
LCインジェクタブル	ペースト	ペースト ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、反応開始材、着色材、その他
LCポストペースト	ペースト	ペースト ガラス粉、Bis-GMA、TEGDMA、UDMA、反応開始材、その他
LCペースト	ペースト	ペースト ガラス粉、Bis-GMA、UDMA、Bis-MPEPP、TEGDMA、反応開始材、着色材、その他
構成		成分
松風ミキシングセット※1	ミキサー	PP、POM
	ノズル	HDPE

「LCインジェクタブル」及び「LCペースト」の色調：
2色（White、Dentin）

※1 歯科用練成器具：「松風ミキシングセット」
(届出番号：26B1X00004000229)

【原理】

本材の「フローペースト」はデュアルキュア型歯科用支台築造材料であり、可視光線（400～500nm）エネルギーによって重合硬化すると同時に、常温重合機能によっても重合硬化する。また、「LCインジェクタブル」、「LCポストペースト」及び「LCペースト」は光重合型歯科用支台築造材料であり、可視光線（400～500nm）エネルギーで重合硬化する。

【仕様】

JIS T 6523：2015「歯科支台築造用コンポジットレジン」

構成	項目	仕様
フローペースト クラス3 (デュアルキュア型)	操作時間	90秒以上
	硬化時間	10分以下
	X線造影性	同じ厚さのアルミニウムのX線造影性以上*
LCインジェクタブル LCポストペースト LCペースト クラス2(光重合型)	X線造影性	同じ厚さのアルミニウムのX線造影性以上*

※象牙質のX線造影性以上を示す。

**【使用目的又は効果】

歯科の支台築造に用いる。

**【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

【使用方法等】の[本材に使用する歯科重合用光照射器及び歯科技工用重合装置と照射時間]に記載した歯科重合用光照射器と同等の放射照度を有する歯科重合用光照射器を使用すること。他の歯科重合用光照射器等を使用する場合は、添付文書等を参考に本材に適した照射時間を確保すること。

**【使用方法等】

[本材と併用する材料]

歯科用象牙質接着材：「ビューティデュアルボンド EX」

(認証番号：225AKBZX00148000)

*歯科用象牙質接着材：「ビューティボンド Xtreme」

(認証番号：302AKBZX00026000)

歯科根管用ポスト成形品：「ビューティコア ファイバーポスト」

*歯科接着用レジセメント：「レジセム EX」、
「ビューティセム SA」

[本材に使用する歯科重合用光照射器及び歯科技工用重合装置と照射時間]

- 1) ハロゲン照射器
ハロゲンランプを光源とし、有効波長域 400～500nm の放射照度が 500mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器
- 2) LED 照射器
青色LEDを光源とし、有効波長域 440～490nm の放射照度が 1000mW/cm² 以上である歯科重合用光照射器
- 3) 歯科技工用重合装置
ハロゲンランプを光源とする歯科技工用重合装置
メタルハライドランプを光源とする歯科技工用重合装置

・「フローペースト」の照射時間

表1. 歯科重合用光照射器による照射時間

歯科重合用光照射器	ハロゲン照射器	LED 照射器
照射時間	20 秒	10 秒

表2. 歯科技工用重合装置による照射時間

歯科技工用重合装置	ハロゲンランプ型	メタルハライドランプ型
照射時間	300 秒	120 秒

・「LCインジェクタブル」、「LCポストペースト」及び「LCペースト」の照射時間と光硬化深度の目安**1

表3. 歯科重合用光照射器**2による照射時間と光硬化深度(mm)

歯科重合用光照射器	照射時間	LCインジェクタブル		LCポストペースト	LCペースト	
		White	Dentin		White	Dentin
ハロゲン照射器	20秒	2.8	3.4	4.5	3.0	3.4
	40秒	3.3	3.9	6.0	3.4	3.5
LED照射器	10秒	2.8	3.4	4.6	2.9	3.4
	20秒	3.2	3.9	6.0	3.5	3.8

表4. 歯科技工用重合装置**2による照射時間と光硬化深度(mm)

歯科技工用重合装置	照射時間	LCインジェクタブル		LCポストペースト	LCペースト	
		White	Dentin		White	Dentin
ハロゲンランプ型	180秒	2.6	3.0	4.4	2.5	3.0
メタルハライドランプ型	150秒	2.5	3.0	4.3	2.6	3.0

※1 試験方法は JIS T 6523:2015 による。

※2 上記の機器を使用。

・「フローペースト」の操作時間及び化学重合硬化時間

表 5. 操作時間(23℃)及び化学重合硬化時間(37℃)

操作時間 (23℃)	2分以内
化学重合硬化時間 (37℃)	6分

操作時間及び化学重合硬化時間は練和開始からの時間を表す。

[使用方法]

1. フローペーストの準備

- 1) シリンジのキャップを反時計回りに 1/4 回転させてキャップの突起部とシリンジの溝部を合わせ、根元を持って下方に折るようにして取り外します。
- 2) ペーストを少量押し出し、両方のペーストが均等に出ることを確認します。
- 3) ミキサーの突起部をシリンジ先端の溝部に合わせて奥まで押し込み、時計回りに 1/4 回転させて装着します。
- 4) ノズル(細)をミキサー先端に音がするまで押し込みます。

** 2. LC ポストペースト及び LC インジェクタブルの準備

下記の手順にて付属のニードルチップをシリンジ先端に正しく取付けます。



シールドキャップを回しながら引き抜きます



松風 P ニードルチップをシリンジ先端部に挿入後、時計回りに回してしっかりと固定します。

3. 直接法

3-1. LC インジェクタブル又は LC ペーストとフローペーストを併用する方法

- 1) フローペーストの準備
 1. **フローペーストの準備**に従って、フローペーストを準備します。
- 2) 築造窩洞の形成
通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。必要に応じてラバーダム等を用いて防湿を行います。
- 3) 歯科用ポストの準備(試適)
適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。

* 4) 歯面処理

ビューティデュアルボンド EX を使用する場合

ビューティデュアルボンド EX のボンド A とボンド B をディスポーザブルディッシュに等量(1滴ずつ)採取し、ディスポーザブルブラシで十分に混合します。その混合液を築造窩洞に塗布し、10秒間放置した後、十分にエア乾燥します。エア乾燥後、歯科重合用光照射器を用いて光照射(ハロゲン照射器:10秒照射、LED照射器:5秒照射)を行い、光重合させます。

ビューティボンド Xtreme を使用する場合

ビューティボンド Xtreme をディスポーザブルディッシュに適量採取し、ディスポーザブルブラシを用いて築造窩洞に塗布します。続いて、弱圧のエア乾燥を約3秒間行った後、さらにエアを強めて十分に乾燥します。その後、歯科重合用光照射器を用いて光照射(ハロゲン照射器:10秒照射、LED照射器:5秒照射)を行い、光重合させます。

- 5) 築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立
シリンジを操作して、練和したフローペーストを押し出し、築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器を用いて光照射(ハロゲン照射器:20秒照射、LED照射器:10秒照射)を行い、歯科用ポストを固定します。
- 6) LC インジェクタブルの準備
 2. **LC ポストペースト及び LC インジェクタブルの準備**に従って、LC インジェクタブルを準備します。

従って、LC インジェクタブルを準備します。

7) 支台築造

LC インジェクタブル又は LC ペーストを歯科用ポストの周囲に築盛します。築盛後、舌側、唇(頬)側及び咬合面等の数方向から歯科重合用光照射器を用いてそれぞれ光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表3を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

8) 支台歯形成

通法に従い支台歯形成を行います。

3-2. LC インジェクタブル又は LC ペーストと LC ポストペーストを併用する方法

1) LC ポストペースト及び LC インジェクタブルの準備

2. **LC ポストペースト及び LC インジェクタブルの準備**に従って、それぞれのペーストを準備します。

2) 築造窩洞の形成

通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。必要に応じてラバーダム等を用いて防湿を行います。

3) 歯科用ポストの準備(試適)

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。

* 4) 歯面処理

ビューティデュアルボンド EX を使用する場合

ビューティデュアルボンド EX のボンド A とボンド B をディスポーザブルディッシュに等量(1滴ずつ)採取し、ディスポーザブルブラシで十分に混合します。その混合液を築造窩洞に塗布し10秒間放置した後、十分にエア乾燥します。エア乾燥後、歯科重合用光照射器を用いて光照射(ハロゲン照射器:10秒照射、LED照射器:5秒照射)を行い、光重合させます。

ビューティボンド Xtreme を使用する場合

ビューティボンド Xtreme をディスポーザブルディッシュに適量採取し、ディスポーザブルブラシを用いて築造窩洞に塗布します。続いて、弱圧のエア乾燥を約3秒間行った後、さらにエアを強めて十分に乾燥します。その後、歯科重合用光照射器を用いて光照射(ハロゲン照射器:10秒照射、LED照射器:5秒照射)を行い、光重合させます。

5) 築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立

LC ポストペーストを築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、窩洞が深い場合は表3を参考に数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。

6) 以下の操作は3-1の7)支台築造、8)支台歯形成に従ってください。

4. 間接法

4-1. LC インジェクタブル又は LC ペーストとフローペーストを併用する方法

1) 築造窩洞の形成

通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。

2) 印象採得及び模型製作

通法に従い築造窩洞の印象を採得し、模型を作製します。

3) フローペーストの準備

1. **フローペーストの準備**に従って、フローペーストを準備します。

4) 歯科用ポストの準備(試適)

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、模型上の築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。

5) 模型上の築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立

模型上の築造窩洞に本材の付着を防止する分離材を塗布した後、シリンジを操作して、練和したフローペーストを押し出し、模型上の築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、歯科重合用光照射器の

光照射時間は、ハロゲン照射器：20秒、LED照射器：10秒であり、歯科技工用重合装置の光照射時間は、ハロゲンランプ型：60秒、メタルハライドランプ型：30秒です。

- 6) LC インジェクタブルの準備
 2. **LCポストペースト及びLCインジェクタブルの準備**に従って、LCインジェクタブルを準備します。
- 7) 支台築造

LCインジェクタブル又はLCペーストを歯科用ポストの周囲に築盛します。

歯科重合用光照射器を使用する場合
築盛後、舌側、唇（頬）側及び咬合面等の数方向から光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表3を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

歯科技工用重合装置を使用する場合
築盛後、光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表4を参考に必要に応じて数回に分けて行います。
- 8) ポストコアの再重合

ポストコアを模型から取り外し、ポストコアに分離材が付着している場合にはそれらを取り除いた後、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いてポストコアに再度光照射し、充分硬化させます。なお、歯科重合用光照射器を用いる場合は、表3を参考に数回に分けてポストコア全体を光照射します。歯科技工用重合装置を用いる場合は、ハロゲンランプ型：180秒、メタルハライドランプ型：150秒間光照射を行います。
- 9) ポストコアの形態修正

ポストコアを形態修正した後、模型から取り外し、50～100 μ mのアルミナ粒子を用いて、被着面を0.1～0.2MPaの弱圧でサンドブラスト処理を行い、水洗・乾燥します。
- 10) 歯面清掃及びポストコアの試適

通法に従い根管を清掃した後、ポストコアを築造窩洞に試適します。試適後、通法に従いポストコアを清掃します。
- 11) ポストコアの装着

歯科接着用レジセメントを用いて、製作したポストコアを根管に装着します。
- 12) 支台歯形成

充分に硬化した後、通法に従い支台歯形成を行います。

4-2. LCインジェクタブル又はLCペーストとLCポストペーストを併用する方法

- 1) 築造窩洞の形成

通法に従い根管形成・根管充填を行った後、築造窩洞を形成します。
- 2) 印象採得及び模型製作

通法に従い築造窩洞の印象を採得し、模型を作製します。
- 3) LCポストペースト及びLCインジェクタブルの準備
 2. **LCポストペースト及びLCインジェクタブルの準備**に従って、それぞれのペーストを準備します。
- 4) 歯科用ポストの準備（試適）

適切な長さ及び太さの歯科用ポストを選択し、模型上の築造窩洞に試適します。アルコール綿球等で歯科用ポストを清掃した後、適切な表面処理を施します。
- 5) 模型上の築造窩洞への填入及び歯科用ポストの植立

模型上の築造窩洞に本材の付着を防止する分離材を塗布した後、LCポストペーストを模型上の築造窩洞内に直接填入します。準備した歯科用ポストを速やかに築造窩洞内に挿入し、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いて光照射を行い、歯科用ポストを固定します。なお、窩洞が深い場合は表3又は表4を参考に数回に分けてペーストの填入・光照射を行います。
- 6) 支台築造

LCインジェクタブル又はLCペーストを歯科用ポストの周囲に築盛します。

歯科重合用光照射器を使用する場合
築盛後、舌側、唇（頬）側及び咬合面等の数方向から光照射を行い、光重合させます。なお、ペーストの築盛と光照射は表3を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

歯科技工用重合装置を使用する場合
築盛後、光照射を行い、光重合させます。なお、ペースト

の築盛と光照射は表4を参考に必要に応じて数回に分けて行います。

- 7) ポストコアの再重合

ポストコアを模型から取り外し、ポストコアに分離材が付着している場合にはそれらを取り除いた後、歯科重合用光照射器又は歯科技工用重合装置を用いてポストコアに再度光照射し、充分硬化させます。なお、歯科重合用光照射器を用いる場合は、表3を参考に数回に分けてポストコア全体を光照射します。歯科技工用重合装置を用いる場合は、ハロゲンランプ型：180秒、メタルハライドランプ型：150秒間光照射を行います。
- 8) 以下の操作は4-1の9)ポストコアの形態修正、10)歯面清掃及びポストコアの試適、9)ポストコアの装着、10)支台歯形成に従ってください。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ・「フローペースト」
 - 1) フローペーストを使用する際は松風ミキシングセットのミキサー及びノズル（細）を用いること。
 - 2) フローペーストの押し出し中に抵抗が感じられた場合は、無理にペーストを押し出さずにミキサー及びノズルの交換を行うこと。
 - 3) フローペーストは強い光により操作時間が短くなる恐れがあるため、強い光が長時間当たらないようにすること。また、充填・築盛・付形の際には必要に応じて汎用歯科用照明器を減光するか消すこと。
 - 4) 窩洞が深く、光が届かない部分等は化学重合により硬化するため、次の操作は一定時間（約6分）後に行うこと。
- * 5) 使用後は、キャップ及びシリンジ先端に付着しているペーストを拭き取ってからキャップを装着すること。
- 6) ミキサーを交換する際はミキサーの固定用キャップ部を反時計回りに1/4回転させて固定用キャップ部の突起部とシリンジの溝部を合わせ、根元を持って下方向に折るようにして取り外すこと。
- 7) 長期間使用していない場合には、シリンジ先端部のペーストが固くなっていることがあるので、先端部の固くなった部分のペーストを廃棄して使用すること。
- ・「LCインジェクタブル」、「LCポストペースト」及び「LCペースト」
 - 1) LCペーストは使用後必ずキャップを確実に閉めること。
- * 2) LCインジェクタブル及びLCポストペーストは使用後ニードルチップを破棄し、以下のいずれかの方法にて保管すること。



保管方法①

新しいニードルチップを装着後、その先端部にシールドキャップ〔反対側〕を装着して保管します。



保管方法②

シリンジ先端部にシールドキャップを装着して保管します。

- 3) ニードルチップは感染防止のため、同一患者のみに使用し、他の患者への再使用はしないこと。
- 4) ニードルチップを交換する際は、清潔な医療用（歯科用）手袋を着用すること。
- 5) 使用後は感染防止のため、シリンジ及びシールドキャップをガーゼ等を用いてアルコールで清拭し、確実に蓋をすること。その際、ペーストにアルコールが混入しないよう注意すること。
- 6) LCインジェクタブルを使用する際は松風ニードルチップ（太）を用いること。
- 7) LCポストペーストを使用する際は松風ニードルチップを用いること。
- 8) ペーパーパッド上に取り出した本材は遮光カバーで遮光すること。
- ・全ペースト共通
 - 1) 窩洞内に残存したアマルガム又は他の裏装材は本材の硬化を妨げる可能性があるため完全に取り除くこと。

- 2) 形成面が歯髄に近い場合は、覆髄材により保護すること。
(ただし、ユージノール系裏装材は使用しないこと。)
- 3) 本材を冷蔵庫で保管している場合は、使用する前に室温に戻してから使用すること。
- 4) 歯科重合用光照射器を用いた光照射時において、術者は照射光の直視を避け、保護眼鏡や遮光板等を使用すること。また、術者は患者の目に照射光が直接当たらないよう保護すること。
- 5) 照射口はできるだけ修復部位に近接させて、修復部位に対して垂直に保持して光照射すること。また、修復部位の表面積が大きい場合は数回に分けて光照射を行うこと。
- 6) 使用後は、歯科重合用光照射器は感染防止のためアルコールで清拭すること。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 本材との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿球等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。なお、医療用（歯科用）手袋は本材の直接的な接触を防ぐが、一部のモノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合は直ちに手袋を捨て、流水で充分洗浄すること。
- 5) 本材が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・「フローペースト」
高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、冷蔵庫（1～10℃）で保管すること。
- ・「LC インジェクタブル」、「LC ポストペースト」及び「LC ペースト」
高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温（1～30℃）、暗所で保管すること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例)  YYYY-MM-DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11

** 電話番号 (お客様サポート窓口) 075-778-5482